



令和7年5月7日

報道関係者 各位

適切な対応で、熱中症を防ぐ！

すべての公立幼稚園、小・中学校にWBGT計を設置

大東市では子どもたちの安全・安心を積極的に保障するため、暑さ指数が31を示した場合、速やかに対応できるように、暑さ指数(WBGT)を測定する「WBGT計」(暑さ指数測定器)を市内すべての公立学校園校に配布します。

外出はなるべく避け、涼しい室内に移動するための目安として、暑さ指数31と定められています(環境省の指針)

【WBGT計導入の経緯】

昨年4月から、熱中症警戒アラートの一段上の熱中症特別警戒アラートが新たに創設され、運用が開始されました。大東市では「確かな学力の向上と教育環境の充実」を施策の重点分野に掲げており、特に教育環境の点で、学校現場における熱中症対策の重要性が年々高まっていることを受け、昨年度、運動や屋外での活動に関する熱中症対策のガイドラインを改訂し、暑さ指数を速やかに把握するために、導入に至ったものです。



WBGT計

5月9日(金)11:00より、大東市立灰塚小学校長へ「WBGT計」を渡し、設置場所や正しい測定について説明・相談する予定です。昨年度までの熱中症対策やこれからの安全確保の取組みについて、校長や子どもたちへの取材を希望される場合は、映像・写真撮影の可否について学校・保護者に確認する必要がありますので、事前に希望をお知らせください。

暑い時期だけでなく、身体が暑さに慣れていない、夏の初めや梅雨の合間など、急に暑くなった日や湿度が高く風の弱い蒸し暑い日にスポーツをすると、気温があまり高くなくても熱中症になる危険性があるとされています。

今回は、今後予定されている水泳授業や校外学習などでも活用することができる暑さ指数測定器「WBGT計」を市内の公立学校園校すべてに順次配付し、積極的に子どもたちの安全・安心を保障していきます。



灰塚小学校 中野校長先生

【問い合わせ先】 大東市教育委員会 学校教育政策部 指導・人権教育課 担当 松田・村島

TEL:072-870-9104 e-mail:gakkou@city.daito.lg.jp